

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援おとのは		
○保護者評価実施期間	R7年3月7日		R7年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R7年3月3日		R7年3月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童に手厚い人員配置を行っていること。	・児童には、職員の呼び方を名前で呼んでもらい、児童が安心して過ごせる居場所を提供できるように工夫している。	
2	・放課後、児童が楽しみに通っていることを児童や保護者、相談支援専門員等からフィードバックをいただいていること。	・学生ボランティアや学生アルバイト、地域のボランティアや、地域行事への参加など積極的に地域交流できる機会を提案している。	・児童が地域のためにできることへの活動に発展すること。 (EX:認知症サポーター、高齢者の生活支援などのボランティア活動など)
3	・祝日に家族交流を含めた行事を提案していること。	・兄弟支援を含めた家族が参加できる行事を企画し、それぞれの家族も一緒に楽しめる行事を意識して企画をしている。	・気軽に話せる家族会への発展すること。(当事者が主体的に取り組めるように支援)

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児童が定員に達すると居場所が狭く感じる。	・子どもたちの居場所として、十分な環境が提案することが難しくなっていること。	・パーティションなどを上手く活用し個別に集中できる環境を提案すること。
2	・第三者評価を取り入れていないこと。	・事業所内で評価しているだけなので、客観的に見る目が乏しい。	・公正中立な立場から評価をいただき、より良い事業所運営に活かしていきたい。
3			

公表

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援おとのほ

2025 年 3 月 26

公表日 日

利用児童数 10人 (諸事情により回答不能2人)

回収数 5人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1			・室内は活動スペースはあまり広くはないですが、屋外に連れていってくれるので、運動は沢山できていると思います。	・晴れている日は、天候を考慮して屋外活動を行い、雨天時は地域資源を利用してホールや体育館を使い活動しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					・児童に対し手厚い職員配置を行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					・適宜、利用児童の状態に応じて視覚的な情報提供や体に合ったテーブル・イスの提供、建具や蛇口等のちょっとした改修を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					・積極的に研修に参加し職員の資質向上に取り組んでいます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					・サービス担当者会議、モニタリング評価を重ね子ども一人ひとりの状態に合った個別支援計画の作成を心がけます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					・令和6年より5領域を取り入れて支援計画を作成しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					・療育に関する参考テキストやリハビリメニューを参考に取り入れるなど児童が選択できる幅を広げられるように工夫しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	1				・地域の児童センターや図書館のお話し会、地域活動支援センターⅠ型等を利用して地域の児童と交流する機会を提案しています。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					・契約時に説明をしています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					・時間割の目安や遊びのメニューと期待される成果を説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5					・祝日の企画の際、親子参加として30分程度の勉強会や懇談会を行っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5					・クラウドシステムにより日ごろの活動の様子を伝え、送迎時の引き渡し時情報共有を意識しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					・親子行事や送迎時などに適宜相談支援を行っているため、今後定期的に相談支援の機会を提案できるよう検討していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					・本人、ご家族の思いに寄り添って、支援を心がけています。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5				・祝日に家族参加ができるイベントを開催してくれます。	・祝日の企画の際、親子参加として30分程度の勉強会や懇談会を行っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					契約時に苦情相談窓口の情報を提供しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					クラウドシステムを導入し、日々の活動の様子やご家族からのメッセージを受け対応できるように環境を整えています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					ホームページのブログにて活動の様子を掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					職員に周知し、適切に取り扱っています。
満 足 度	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5					十分な周知ができていない面があるのでわかりやすく情報提供を行えるよう工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1			・入所したばかりなので、避難訓練をどのくらいの頻度で行っているのかは、まだわかりません。	毎月のシェイクアウト訓練と年2回の避難訓練を実施しています。今後は安全計画に沿って実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					出かける前に、児童に危険ヶ所の周知や約束事を確認し出かけるようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				・ケガした際は、送迎の際に直接伝えてくれました。	適宜、状況に応じてご家族に連絡や送迎時に経過報告等を行っています。
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5						安心して過ごせる居場所となるよう職員一同心がけています。
28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					・毎回楽しそうに通っています。	児童本人からのご家族から楽しみに通っている声を寄せていただいています。
29	事業所の支援に満足していますか。	5					・子どもに合った支援を考え、関わってくれていると感じます。	事業所の支援に満足されていない回答がありましたので、より良い支援ができるように日々研鑽していきます。

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 おとのは		公表日		2025年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	空欄	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	1	・晴れている日は、天候を考慮して屋外活動を行い、雨天時は地域資源を利用してホールや体育館を使い活動している。	・人数が多い時（放デイと一緒にいる）時は少々狭く感じる点。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	0	・児童に対してマンツーマン体制を意識して職員配置を行っている。	・一人ひとり担当になっており活動しやすい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	0	・掲示物等により、視覚的に情報提供している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	0	・静かにゆったりと過ごす部屋、みんなが集う部屋、身体を動かして遊ぶ部屋を分けて活動している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	0	・適宜、宿題や創作活動など集中して取り組みたい児童に適した部屋の提案をしている。	・バーテーションの活用を積極的に行い場面に応じた環境設定を安易にできるように工夫する必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	1	行事や避難訓練など、振り返り評価を行いPDCAサイクルに取り組んでいる。	・現場に即した安全計画のマニュアルへとブラッシュアップしていく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	1	・ホームページにて公開している。	・結果を踏まえて今後の方針を検討したり職員で共有をおこなう機会を意識的につくっていく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	0	・職員との個別面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	2		・R7年度には、山梨県社会福祉協議会の第三者評価事業を取り入れる予定
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	0	・積極的に外部研修受講をしている ・職員が均等に受講できるように配慮している。	・研修受講後の伝達研修の充実を図り、職員が共通の理解で支援に当たれるようにする必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	0	・ホームページにて公開している	・今後は、公開情報を見直し、適宜更新し、最新の情報を公開できるようにする必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1	0	・保育園や他施設の状況も確認して計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	0	・出来る限り支援に関わる職員の声を聴き、支援会議でも共有を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	0	・クラウドシステムで、日々の記録の際に計画書が表示され、チェックできる	・リスクマネジメントの研修等開催していく必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	1	・5領域のアセスメントシートを活用しフォーマル、インフォーマルも含め行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	0	・5領域の支援を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	1	・チームで検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	0	・子供の意見を聞いて予定を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	0	・日々個別と小集団のメニューを提案し関心ごとから取り組めるように伴走支援を心がけている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	0	・必要時に打ち合わせをしている	申し送り等の時間を業務の中に位置づけていくことも検討が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	1	・支援終了時に課題等がある時は、課題について話し合い方針を決めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	0	個別支援計画の実施状況を日々チェックしている。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	2	・リハビリの立会や、学校での支援会議等を行い連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	1	・計画相談を中心とした支援者会議で関係機関を招集している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	2	引継ぎ資料を作成し、引継ぎ会議に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	3	各種研修情報をもとに研修を積極的に受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	2	図書館や児童館を利用し地域の子どもと交流できる機会を提供している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	1	・日々の児童の様子をケース記録に記載し保護者と情報共有している。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	3	・祝日の企画の際、親子参加として30分程度の勉強会や懇談会を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	3	利用契約時に全員に説明をおこなっており、時間が無くなるため、ポイントを絞って説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	3		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	2		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	2	祝日営業日に家族交流(兄弟交流)ができるように企画している。	

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	2	・必要に応じ、家族支援会議や関係者会議を行っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	1	・クラウドシステムにより、イベントや訓練、お知らせを発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	1	・鍵のついた戸棚に保管している ・職員に秘密保護について説明している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	1	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	1	・ボランティアさんや、民生委員、毎週火曜日には老人会と交流している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	1	・安全計画を作成している
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	1	・BCPを作成し計画的に実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	2	・アセスメントを実施して職員間で共有している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	2	・家族からの聞き取りを行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	2	・安全計画を作成している。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	2	・安全計画を作成している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	2	・ヒヤリハット様式を用意し、事が起きたときは記入して、共有を行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	0	・身体拘束・虐待防止の教育や説明、講習会に参加して防止に努めている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	3	・身体拘束・虐待防止の教育や説明、講習会に参加して防止に努めている。	